

自動車関連部会 道内視察会(釧根地区)の開催について

自動車関連部会ではこの度、下記のとおり道内視察会(釧根地区)を開催いたしました。

記

1. 開催日 平成 28 年 9 月 15 日(木)～平成 28 年 9 月 16 日(金)
2. 参加者 自動車関連部会 15 社 16 名(事務局 1 名含む)
3. 視察場所 釧路市、浜中町、根室市
4. 視察先

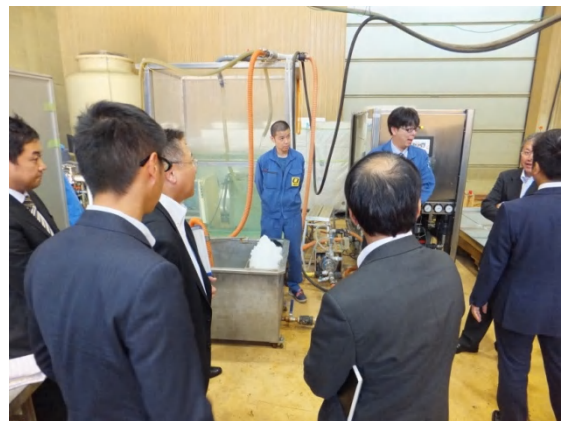
① 株式会社 ニッコー 様 (釧路市) ～オンリーワンテクノロジーで次代を拓く～

2015 年第 6 回ものづくり日本大賞優秀賞、北海道新技術新商品開発賞ものづくり部門大賞受賞企業。経済産業省の「ネクストGNT (グローバルニッチトップ)」企業として水産資源のオリジナル加工機開発・製造販売に取組む当会会員。お客様のニーズを開発意欲と創造の原動力とし、水産加工機分野では魚の形状を認識し装置のスピードや圧力制御で自動的に鮭の一次処理を行うシステムを開発している。ニッコーが提案するロボットによる生産システムは大幅なコスト削減・製品の衛生管理・省スペース化等多くのメリットを実現し、食品加工ロボット開発・導入セミナーで【ホタテ貝自動生剥き機「オートシェラー」の開発事例】が注目を浴びている。今回の視察団訪問に際し、マイクロ粒子のシルクアイスが生鮮物流に鮮度革命をもたらす「連続式シルクアイスシステム 海水」を同社試験室にて実演視察しました。

ご説明者=専務取締役 佐藤一雄 様、ご対応者=総務 森江晃好 様



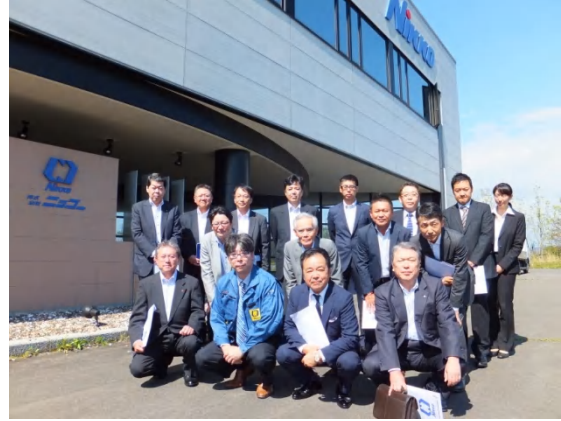
連続式シルクアイスシステム実演



視察風景



同社 会議室において会社概要説明風景



自動車関連部会視察団一行

② 株式会社 昭和冷凍プラント 様(釧路市)

「ものづくり日本大賞地域貢献賞受賞・元気なものづくり中小企業 300 社受賞」企業として冷凍冷蔵設備の設計・製作・施工に取り組む。昭和冷凍プラントは漁業、水産加工を基幹産業とする北海道釧路市で冷凍・冷蔵設備の開発、製販を手がける。従業員は 10 人。「特許で武装し、独自のモノづくりを行うことが中小企業の生きる道」との持論を実践する若山敏次社長が引っ張る少数精鋭の技術者集団。同社は現在、開発した窒素ガス封入氷製造システムの販売に力を入れている。

当日は、同社システムを採用した、釧路東水冷凍株式会社にしづかひろただの社長 西塚明任氏のご協力により窒素氷自動製氷工場を視察した。



釧路東水冷凍(株)窒素氷自動製氷工場内部



製造能力日産40t 氷点下 15 度設定の貯氷庫300t



窒素氷砕氷排出風景



釧路東水冷凍(株)窒素氷自動製氷工場にて視察団

③ JA浜中(農業技術センター)様

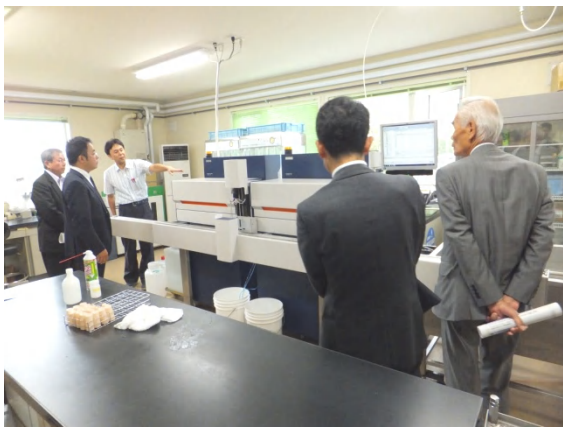
北海道は厚岸郡浜中町にある JA 浜中町。全国の酪農家が厳しい状況に置かれている昨今、ここだけはめざましい成果をあげている農協である。いったいなぜ、JA 浜中町の酪農だけが元気なのか。他の酪農とどこが違うのか。高級ブランド『ハーゲンダッツ』への原料供給を勝ち取った JA 浜中町のクリーンな生乳とタカナシ北海道工場の技術のコンビネーション。
ご対応者＝営農課分析コンサル係長 金子利弘 様



高品質牛乳生産への取組む酪農技術センターにて



組合員に高品質な牛乳を無駄なく生産・出荷してもらう目的



高精度の検査機器は東欧製であった



JA 浜中町 酪農技術センターにて視察団

<その他>

- ・ 納沙布岬視察 北方領土を考える 9月15日 17:35分日没であったが歯舞群島・国後島を望む。
- ・ 自動車関連部会交流懇親会開催 場所 ホテルねむろ海陽亭 19:00

以上